

子どもを犯罪から守る 防犯カメラ設置促進を

木名瀬議員 昨年3月に松戸市の女兒が登校するため、自宅を出たまま行方不明になり、殺害されるという大変痛ましい事件が発生してから、もう1年が経とうとしている。

この事件を受けて、県では子どもの安全確保に向けた通学路等の安全対策のため、市町村の要望を踏まえ、昨年9月に補助対象を拡大するなど、より市町村が活用しやすくなるよう、「市町村防犯カメラ等設置事業」補助制度の改正を行った。

そこで何うが、防犯カメラ設置の補助制度の改正効果について、どのように考えているのか。

知事 県では、昨年9月に市町村の要望も踏まえて補助制度の改正を行いました。具体的には、これまで設置目的を「ひたくり」等の特定犯罪の抑止としていましたが、この要件を撤廃しました。これにより、通学路の見守りの場合でも、補助対象となります。

また、設置場所についても、従来は公道等に限っていましたが、公園など、不特定多数の人が通り抜けできる場所についても、補助対象としたところです。

この改正により、通学路や公園などにも防犯カメラの設置が進み、子どもの安全・安心を脅かす犯罪の抑止につながるものと考えています。

木名瀬議員 子どもたちの安全・安心を確保するため、通学路への防犯カメラの設置を進めていくためには、市町村にこの制度を積極的に活用してもらわなければならないが、改正後の補助制度の活用状況はどうか。過去の実績見込みはどうなのだろうか。

そこで何うが、平成29年度における補助事業の実績



2月定例県議会予算委員会で質問する木名瀬捷司県議

ふるさと野田市の街づくりにまい進している木名瀬捷司県議は2月定例県議会予算委員会で質問に立ち、防犯対策や農業問題、道路問題について県の担当者に聞きました。通学途中の子どもを犯罪から守るため、通学路に防犯灯の設置が進められています。木名瀬県議は県による設置補助事業を取り上げ、市町村からの要望などを質問しました。木名瀬県議の質疑と県担当者の答弁を特集します。

木名瀬議員 今年度の補助事業の実績見込みは約3600万円とのことだが、一方で、来年度の予算額は今年度に比べて大幅に増額されている。

そこで何うが、平成30年度当初予算において、予算額を7000万円に大幅増額した理由は何か。

知事 市町村に対し、防犯カメラの更なる設置を呼びかけた結果、平成30年度については、今年度より200台多い約4300台の要望がありました。

その所要額を確保するために、7000万円の予算

県からの設置補助 市町村の要望急増



予算委員会が開催された2月定例県議会

見込みはどうか。

環境生活部長 制度改正について市町村に説明し、防犯カメラの更なる設置を呼びかけたところ、61台の追加要望がありました。

これにより、今年度は、昨年度よりも79台多い231台、約3600万円の実績となる見込みです。

木名瀬捷司県議 プロフィール

○経歴○

- 昭和17年1月 野田市生まれ
- 平成6年5月 野田市議選に初当選
- 平成15年4月 連続2期当選
- 平成18年7月 県議選に初当選
- 平成20年7月 現在4期目
- 平成23年12月 総合企画水道常任委員会委員長
- 平成23年12月 商工労働企業常任委員会委員長
- 平成23年12月 予算委員会副委員長

○現職○

- 県議会 総務防災常任委員会委員
- 千葉県 監査委員
- 野田リトルシニア野球協会会長

要望 木名瀬議員 子どもを確保するため、通学路等の安全対策の強化は重要な課題であり、引き続き、防犯カメラの設置促進に取り組むとともに、今後も、市町村からの設置要望にできる限り対応していただけるよう要望する。

県政や野田市の
ご相談、ご意見は
お気軽に

木名瀬捷司 県議事務所

〒278-0042 野田市吉春836
TEL.04(7125)1950

環境守る農業推進に「役

環境保全型農業直接支払交付金



担当者の答弁を聞く木名瀬捷司県議

木名瀬議員 平成23年度に創設された「環境保全型農業直接支払交付金」は国と県と市町村の共同事業で、地球温暖化防止や生物多様性の保全を考慮した営農活動に取り組む農業者等に対し、資材や労働などの掛かり増し経費を支援するものだ。

有機農業を初め、環境に優しい農業を実践する方々にとっては、非常にありがたい制度だと聞いている。さて、私の地元、野田市は都市化が進みながらも、

利根川沿いを中心として、景観が素晴らしい豊かな水田が広がっており、野田市民の心の支えになっている。こうした水田において、持続可能な環境保全型農業

木名瀬議員 東武野田線立体交差事業について伺う。本事業は、清水公園駅から梅郷駅までの間の2.9キロメートルを高架化することにより、11力所の踏切を無くす事業であり、これまでに仮線への移設工事と一部、高架橋の建設が行われているが、踏切による交通渋滞や事故の解消を図るため、また、鉄

道をより分断されていた市街地の一体化を図るためにも、早期完成が望まれている。そこで伺うが、東武野田線連続立体交差事業の進捗状況はどうか。

県土整備部長 県では、東武野田線の「清水公園駅」から「梅郷駅」間の2.9キロメートルを高架化するため、仮線への切替え工事を行っている。そこで伺うが、東武

木名瀬議員 まもなく全区間が仮線に切り替えられるとのことだが、今後、ますますの事業進捗が期待される。そこで伺うが、東武

木名瀬議員 野田線連続立体交差事業の来年度の予定はどうか。

県土整備部長 今年度末には、仮線切り替えが全区間完成することから、来年度は全面的に高架橋工事を実施していく予定です。

木名瀬議員 今後、東武野田線連続立体交差事業の来年度の予定はどうか。

野田市内渋滞緩和に期待

東武野田線立体交差

有機農業への補助、最も多く

農林水産部長 平成28年度の取り組みでは、有機農業が29.5％と、全体の44％を占めて最も多く、次いで農地に鋤き込むことを目的に牧草等を栽培するカバークロップが19.0％、28％、堆肥の施用が18.6％、27％

農林水産部長 平成28年度の取り組みでは、有機農業が29.5％と、全体の44％を占めて最も多く、次いで農地に鋤き込むことを目的に牧草等を栽培するカバークロップが19.0％、28％、堆肥の施用が18.6％、27％

木名瀬議員 今後、環境保全型農業直接支払交付金の予算確保に、できる限り努めていただくよう要望する。

木名瀬議員 今後、環境保全型農業直接支払交付金の予算確保に、できる限り努めていただくよう要望する。

木名瀬議員 今後、環境保全型農業直接支払交付金の予算確保に、できる限り努めていただくよう要望する。

平成35年度開通目指す

県道境杉戸線バイパス

木名瀬議員 県道境杉戸線バイパスの現在の状況はどうか。

県土整備部長 県道境杉戸線については、交通混雑の緩和と歩行者の安全確保を図るため、野田市関宿台町地先から関宿元町地先までの延長2.3キロメートルの整備

木名瀬議員 今後、環境保全型農業直接支払交付金の予算確保に、できる限り努めていただくよう要望する。

関心が高くなっていることがうかがえる。地元の野田市内におい

とも堆肥を施用して化学肥料を減らす取り組みなどにおいて、本事業の活用が伸びている。そこで伺うが、環境保全型農業直接支払交付金について、本県ではどのような取り組みでの活用が多いのか。

木名瀬議員 私としては、この制度は非常に良い制度であり、今後も推進してもらいたいと考えている。

木名瀬議員 私としては、この制度は非常に良い制度であり、今後も推進してもらいたいと考えている。

3・4・20号今上木野崎線

整備の加速を要望

木名瀬議員 野田都市計画道路3・4・20号今上木野崎線は、埼玉県に連絡する玉葉橋から県道松戸野田線や国道16号を結ぶ重要な都市計画道路だ。

木名瀬議員 今後、環境保全型農業直接支払交付金の予算確保に、できる限り努めていただくよう要望する。

要望

要望

要望

要望

要望

要望

要望

要望

要望

要望

要望

要望

要望

要望

要望